



# 田上町 議会だより

第136号

令和4年8月26日発行



▲ 夏休みのラジオ体操



## ■ 主な内容

6月定例会	P 2
陳情、発議案	P 3
一般質問(12議員)	P 4～15
付託案件審査報告	P 16～17
所管事務調査報告	P 18
行政視察の受け入れ、表彰、新任議員紹介、一部事務組合報告	P 19
全員協議会	P 20～21
護摩堂山「里山再生プロジェクト」／編集後記	P 22

田上町議会  
フェイスブック



令和4年

6

月定例会

6月28日～  
7月14日

◆個人・事業者・農業者を支援する予算を可決

- ◎燃料・物価高騰等に伴う生活応援支援事業
- ◎原油価格等の高騰に係る緊急経済対策支援金事業
- ◎原油価格等の高騰に係る農業者経営継続支援金事業

◆今年度に田上中学校プールの修繕着手



▲ 補欠選挙後、最初の議会

議案

【専決処分】

- ・損害賠償の額の決定及び和解の報告
- ・税条例等の一部改正の報告
- ・国民健康保険税条例の一部改正の報告

【協定の一部変更】

- ・三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合における公の施設の相互利用に関する協定の一部変更

全ての議案は承認・同意・原案可決されました。

- ・令和4年度一般会計補正予算の報告（事業者支援等）
- ・同年度一般会計補正予算の報告（個人支援等）
- ・同年度下水道事業特別会計補正予算の報告

（P 16・17 参照）

【令和4年度補正予算】

- ・一般会計
- ・下水道事業特別会計
- ・国民健康保険特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・水道事業会計

全ての議案は原案可決されました。

（P 16・17 参照）

【その他報告等】

- ・令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告
- ・県央土地開発公社事業計画書及び事業報告書の提出

## 陳 情 等

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 3 号	女性トイレの維持及びその安心安全の確保について	神奈川県大和市中央 2-1-15-5 階 大和法律事務所内 女性スペースを守る会 —L G B T法案における『性自認』に 対し慎重な議論を求める会— 共同代表 飯野 香里／井上 恵子 永田 マル／山田 響子
陳 情 第 4 号	国民の祝日「海の日」を 7 月 20 日に固定化する意見書の提出を求める陳情	東京都千代田区平河町 2-4-6 海運ビル 海事振興連盟 会長 衛藤 征士郎
陳 情 第 5 号	後期高齢者の医療費窓口負担の 2 割化中止を求める陳情	新潟市中央区西堀通三番町 799 西堀カメラ 207 全日本年金者組合新潟県本部 執行委員長 稲葉 正美
陳 情 第 6 号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	新潟市江南区酒屋町 308-2 辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会 代表者 福本 圭介
陳 情 第 7 号	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	兵庫県伊丹市北伊丹 1-75 井田 敏美
陳 情 第 8 号	田上中学校プール授業に関する要望書	田上中学校 P T A 会長 鶴巻 亮

## 議員発議による発議案

番 号	件 名	提出議員	議決結果	提出先
発 議 第 4 号	県央医療圏の医療改善は平成 28 年の当初計画に基づき実施するよう求める意見書	椿 一春	原案可決	新潟県知事 新潟県病院局長

### 議 会 か ら の お 知 ら せ

### 9月定例会について

次の定例会は**9月8日(木)**からの予定です。  
議場ではコロナ対策のご協力をお願いしております。  
日程は近くなりましたら、田上町議会HPでお知らせいたします。

一般質問の要旨も掲載します。ぜひ傍聴においでください。

田上町ホームページ <http://www.town.tagami.jp/>

TOP→田上町議会→令和4年定例会・臨時会のお知らせ





藤田直一 議員 (文責)

### 小中学校のプール施設の 利用について

将来、小中学校プールと町民体育館は、  
誰もが使える一体型の施設として検討すべき。  
町長・教育長：どの様な対応が一番良いか早めに方針づけたい。

授業について、今後どのように進めていくのか、町長と教育長に伺います。

**問** 公共施設の耐震補強や経年劣化への対応は、当町においても大きな問題となっております。議会からも、老朽化した公共施設への整備計画を早急に作成して、検討すべきであるとの意見も出されています。このような中で今問題となっているのが、中学校のプール施設についてです。コロナ感染症拡大の中で、2年度は休止、3年度は使用しましたが、昨年6月の点検でろ過器の不具合が見つかり、水質悪化を防止するために水道のかけ流しと塩素消毒を行いながら使用していましたが、4年度は修理のために、加茂市の温水プールの利用で授業を行うこととなりました。中学校のプールは完成後51年が経過し、生徒からはプール授業が道路から見えない対策等の要望もあるとのこと。羽生田小は40年、田上小は38年経過して共に老朽化が進んでいます。このような状況の中で、既存プール施設への対応と

**町長** 中学校のプール授業について、今年度は加茂市の温水プールで行います。修繕を行い、来年度は既存のプールで行う予定です。

**教育長** 中学校では、今年度は加茂市の温水プールを借りて実施しますが、来年度はプール修繕を行い中学校で授業を行う方針です。また、その他の環境改善も含めて修繕内容を検討しているところであり、修繕見積額が出た段階で議会へ示します。プール施設について、今後どのような対応が一番よい方法なのか、早めに方針づけたいと思っています。



▲ 修繕が必要な田上中学校プール

### 新規住宅地開発と 人口減少化について

町長に伺います。

**問** 佐野町長の二期目の所信表明の中で、今後の10年間を見据えた、第6次総合計画の取組について『田上町が高く羽ばたく年となるように積極的に着手してまいります。』と強い意志を示していました。ぜひとも、この総合計画が順調に達成されるよう期待をするとともに、微力ではありますが、支援してまいります。

**町長** 『10年後も誰もが住み続けたい町』の実現のためにそれぞれ分野別目標を掲げていますが、この中にある『人口問題への対応実施事業』として『住宅地開発に向けた民間事業者への働きかけ』を新規事業として掲げています。土地はあれども、計画整備された宅地は近年ありません。『住宅地開発に向けた民間事業者への働きかけ』は、重要な施策と評価をしています。町長が示す『民間事業者への働きかけ』について、今後どのような手法で取り組んでいくのか

**町長** 『第6次総合計画』の『民間事業者への働きかけ』についてですが、以前から議会一般質問において宅地開発の質問を受けており、町独自で住宅地開発を行うことは難しく、民間事業者の力を借りて、住宅開発を考えていきたいと回答しています。人口減少化対策の実施事業の一つとして総合戦略に掲載しています。

どのように働きかけを行っていかについては、やみくもに宅地開発業者へ出向き、開発のお願いをしても、なかなかうまくいかないと思いますので、ある程度執行内で造成までの法規制、どのような手続きが必要か等の事前審査を行って、また今後の経済動向を見ながら、近隣の宅地開発業者への声掛けをしていくことを考えています。

## 一般質問

ここが聞きたい

『再生可能エネルギー』の導入は、町民のための『生活維持投資』！  
計画的導入は、田上町が存続し続けるための必須条件です！

町長：策定中の『地方公共団体実行計画』で検討します。



小野澤健一 議員 (文責)

### 再生可能エネルギーについて

『再生可能エネルギー』に関しては、一年前の一般質問で、生活を支える『地元循環型経済』の視点に立ち、その必要性を論じました。

併せて、エネルギーと食料の自給自足率改善への具体的な努力の重要性と共に、田上町のエネルギー自給率が県内30市町村の中で極端に低く、田上町が存続し続けるための阻害要因になり兼ねない由々しき状況に在るため、改善する必要性も説きました。

今回は経済的側面ではなく、『生活の安心、安全、安定に対する保障』という社会的側面、より本質的なものとして捉え、可及的速やかに計画的導入を図るよう提唱します。

国策により、再生可能エネルギーの『主力電源化』が求められています。

『地域脱炭素ロードマップ』では、公共施設の太陽光発電設置を『当たり前の電源』として、スケジュールを示し、実質的に義務化しています。

ウクライナ危機の中で、エネルギー価格（電気、ガソリン、ガス等）の高騰が生活に大きな影を落としており、影響が長期に及ぶことを覚悟しなければならぬ状況です。

現に、今年度の役場庁舎を含めた公共施設の電気料金は7457万2千円、前年度比1360万4千円、率にして22・3%の大幅な支払いを余儀なくされています。このような現実を立てば、再生可能エネルギーの導入、事業化は避けて通ることが出来ず、町民にとって重要な『生活維持投資』の一つとして捉え、庁内体制を整えるとともに、町全体への普及（地区単位の太陽光、風力、水力等の小口電力発電設置、LED電球の普及等）も視野に、知識と実績の集積を図る必要があります。

**問** 田上町の再生可能エネルギー自給率改善の必要性についての考え方、捉え方は。

### 新規住宅地開発と 人口減少化について

町長に伺います。

**問** 佐野町長の二期目の所信表明の中で、今後の10年間を見据えた、第6次総合計画の取組について『田上町が高く羽ばたく年となるように積極的に着手してまいります。』と強い意志を示していました。ぜひとも、この総合計画が順調に達成されるよう期待をするとともに、微力ではありますが、支援してまいります。

**町長** 『10年後も誰もが住み続けたい町』の実現のためにそれぞれ分野別目標を掲げていますが、この中にある『人口問題への対応実施事業』として『住宅地開発に向けた民間事業者への働きかけ』を新規事業として掲げています。土地はあれども、計画整備された宅地は近年ありません。『住宅地開発に向けた民間事業者への働きかけ』は、重要な施策と評価をしています。町長が示す『民間事業者への働きかけ』について、今後どのような手法で取り組んでいくのか

**町長** 『第6次総合計画』の『民間事業者への働きかけ』についてですが、以前から議会一般質問において宅地開発の質問を受けており、町独自で住宅地開発を行うことは難しく、民間事業者の力を借りて、住宅開発を考えていきたいと回答しています。人口減少化対策の実施事業の一つとして総合戦略に掲載しています。

どのように働きかけを行っていかについては、やみくもに宅地開発業者へ出向き、開発のお願いをしても、なかなかうまくいかないと思いますので、ある程度執行内で造成までの法規制、どのような手続きが必要か等の事前審査を行って、また今後の経済動向を見ながら、近隣の宅地開発業者への声掛けをしていくことを考えています。

**町長** 公共施設への設置は、現在策定中の「地方公共団体実行計画・事務事業編」にて検討します。

**問** 当計画がないと再生可能エネルギーは導入できないのでしょうか。

**総務課長** 導入は可能ですが、現時点では国からの財政措置を受けるためには原則計画策定が必須となります。

**問** 実績、知識の習得に全く前進がありませんが、『地域脱炭素ロードマップ』をどのように捉えていますか。

**総務課長** 国が公表していることから、義務化されると考えています。

### 所信表明について

『田上町第6次総合計画』について、全体の半分を割いて、万遍なく述べています。当計画の作成には2年の歳月を要し、昨今の急激な社会経済

情勢の変化に鑑みれば、スタート直後から陳腐化、劣化していきます。先の参議院議員選挙の争点の一つであった「物価高」が、町民にとつての喫緊の課題です。「行政資源の集中」により、課題解決の政策の実現をより確かなものとし、刻々と変わる社会経済情勢に対して、迅速かつ適切に対応するために、「政策の優先度」は行政運営上必要不可欠なものです。

**問** 『田上町第6次総合計画』を陳腐化、劣化させないための対処方法は、優先度をつけられないに固執するのでしょうか。

**町長** 『まちづくり財政計画』に盛り込み、都度対処します。全て大切であり、優劣（優先度）はつけるべきではないと考えます。





池井 豊 議員 (文政)

### 「願い」や「想い」の反映のしかたは

**問** 「あなたの願いが町をつくり、あなたの想いがまちを変え、という理念のもと」とあり『町民の皆さまの参画意識を高め、優れて人材を積極的に活用し「願い」や「想い」を町政に反映させる」とありますが、具体的にどのようなように反映させていきますか。

**町長** 積極的に外へ出向いて、町民の皆様や様々な分野で活躍されている方々と、直接触れ合う機会を通じて、ご意見、ご要望等をいただいで、それを町政に反映していきたいと考えています。

### 本田上工業団地への企業誘致について

**問** 本田上工業団地への企業誘致について「今後は私が先頭になってしっかりとPRしていきたい」とありますが、まさにここが佐野町政一期目最大のウイークポイントだったと思えます。どのようにPRしていくのかお聞かせください。

**町長** これまで金融機関への訪問などを行ってきたところですが、この間に新潟市との間のバイパス全線開通し多くの方から田上町を知っていただきました。この好機を捉えて、積極的に関係行政機関や民間事業所などへ訪問を行っていききたいと思っています。

### 街の住みこころランキングについて

**問** 街の住みこころランキングが4位になったことについてふれています。非常に喜ばしいことで、佐野町政一期目の最大の成果だと思えます。どのように分析して庁内で共有化していきますか。これを遡及しない手はありません。このランキング4位をどのように活かしていきますか。

**町長** 田上町は静かき、治安が1位、防災が2位、物価、家賃が2位などと、上位にランクインしていました。今後、詳細なデータ内容を確認し、田上町を知っていただけるように、PR、情報提供を行って、移住定住の促進につなげていきたいと考えています。



**情報発信について**  
**問** 情報発信について表明しています。公式Twitterを始めたから情報発信ができていけるのではなく、いかに即時性のある情報を的確に上げているか



Twitterと連動する田上町のホームページ

## ここが 一般質問 聞きたい

所信表明を受けて4つ質問します。『二期目「情報収集」、「情報発信」はいかにして行うのか?』

町長：積極的に外に出向いて情報収集します。Twitterなども含め、工業団地情報や街のすみこころの良さを情報発信していきます。

## ～組織を統治する責任の深さ・重さを実感した昨一年間の議論の教訓は～

町長：私の想い・決意を伝えることで、組織の意思を高め、組織力の強化が図れると信じて取り組んでいきたい。

### 「所信表明」を次の3点の視点で検証します。

- 1 新たな4年における決意
- 2 未来への継承・布石
- 3 町政運営にかける決意

#### 新たな4年における決意

**問** 新たな任期で、町の未来への責任を果たすために、  
(1) 町づくりの理念のもと優れた人材を積極的に活用する  
(2) 企業誘致には、先頭に立ってしっかりとPRしていく  
(3) 農業経営者の育成に必要な支援策を研究する  
としていきます。その具体像をお聞かせください。

#### 町長

人材の積極的活用については、自治体にとって組織力の強化が最も大事な課題の一つで、その重要な要素として「チームワーク」があげられます。それぞれの特性の把握に努め適材適所での活用を行っていきます。企業誘致については、本田上工業団地の残り面積は2万673・58㎡となりました。一刻も早く完売するのが私の使



▲ 所信表明が行われた本会議

命と考えています。手をこまねいていけば、令和13年度には土地開発公社で負担できず一般会計からの支援が必要となります。農業経営者の育成については、田上町の農業の姿を描くと同時に農業経営者の育成に必要な支援策などの調査研究を行っていきます。

が大切です。地域おこし協力隊員は行政が担当するような情報もアップしています。ここで重要になるのは、町と協力隊員との連携です。いかに連携・協力をしていくのかを伺います。

**町長** Twitterについては、町と地域おこし協力隊員で情報発信を行っていますが、隊員が上げる内容をどのように町の公式Twitterに掲載できるか検討し、可能な限りタイムリーな情報が町でも発信できるように隊員と連携していきたいと考えています。

#### 未来への継承・布石

**問** 過去から現在そして未来に向かう町政の継続性の「コマが未来への継承・布石をつくり出します。

『若い世代の転出抑制を図るため「くらし応援リフォーム補助事業」など4つの住宅環境整備施策を展開します』

また『人口減少と言う流れの中にあつて、この町を消滅させてはならない』とした人口減少に対応した町づくりが、未来の子どもたちに継承されるべきでしょう。

また『高度成長期の遺産対策』の時機にどのように備えるべきとお考えですか。

#### 町長

人口減少に対応した町づくりに着手することの必要性は十分理解していますが、私が優先的に取り組みをしなければならぬことは「住んでみたい・住み続けたいまちプロジェクト」に掲げている人口減少対策を取り組むことです。公共施設等については「公共施設等総合管理計画」に基づき、

施設の経年劣化や緊急度及び必要性に応じて「まちづくり財政計画」に反映させていただきます。施策の今後の在り方については「今の世代で判断するか、あるいは将来世代で判断すべきか」といった点を考慮し、取り組んでいきます。

#### 町政運営にかける決意

**問** 昨一年間の議論の教訓は、組織の能力が町づくりの結果に表れるとの危惧感から、その力を阻害しているのはいかを探る議論でした。どのようなリーダー像を期待しますか。

#### 町長

自治体にとっての組織力の強化・チーム力は最も重要な課題の一つです。組織とは、共通の目的をもって目的達成のために分業や調整を行う人々の集団を意味します。職員一人ひとりの協力・チーム力を高めることが大切です。

# ここが聞きたい 一般質問



わたなべ かつえい 渡邊 勝衛 議員(文責)

## 危険な建物、旧田上町公民館の解体は早急に。スケジュールは

町長：調整池が事業化されれば対応できます。建物の解体までは維持修繕を実施します。

**町長** 旧田上町公民館は下水道事業で計画している雨水調整池の候補地となっています。調整池が事業化されれば解体に関して費用を少しでも抑えられます。昨年度は施設周辺への影響を考慮し、バリケード設置しました。今年度は瓦の補充、ずれの補修を行い、建物の解体までは維持修繕を実施します。

現在、雨水調整池の調査設計、測量等の設計業務を実施しています。現地の状況、候補地の技

**問** 旧田上町公民館が閉鎖されてから3年が過ぎ、老朽化した建物で防犯上の問題があり、地元住民は一日も早い解体を望んでいます。令和3年9月定例会で、私の一般質問に町長は下水道事業の雨水調整池の候補として考えており、有利な財源を捻出できないか模索しているとの回答です。約1年が経過しますが、何も進展していません。今後の対応について町長に尋ねます。

**安全面から見れば旧田上町公民館の解体は早急に**

**町長** 町民体育館、心起園、田上中学校のプールについては、今年の4月の社会文教常任委員会における所管事務調査で現状確認がされています。それぞれ抱えている課題や問題点がありますが、将来を見据えた中で、担当課で研究、検討しています。方向性が決まり次第、所管の常任委員会に説明します。

**問** 経年劣化した公共施設のことからの対応については、多くの議員から提起されています。田上中学校のプールについては、今年度中とは言わず、毎月開催される全員協議会の中で、工程表を作成して説明を行ってほしいです。これまで計画的に予防保全が実施されていなかった残念な結果なのです。今後の対応について町長に尋ねます。

**20年・30年後を見据えた田上中学校のプールを**

術的な面を含め、検討しています。設計業務が完了次第、説明会を開催します。

**町長** 毎年、県央基幹病院周辺の環境整備として、三条市、燕市、加茂市、弥彦村、田上町の5市町村による県央基幹病院の設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会を通じて、国及び新潟県、地元選出国會議員への要望活動を行っています。要望の内容として、国道403号三条バイパスの整備促進及び延伸、石上大橋下流橋の建設などの整備を強く要望していきます。

**問** 今年の11月頃には、三条市の保内工業団地まで国道403号三条北バイパスがつながります。令和5年12月頃までに塚野目・代官島線(景雲橋につながる道路)で、工事はひと区切りとなります。県央基幹病院まで約6kmが事業化されていません。町民の命を守るには、このアクセスの事業化が必要です。今後の対応について町長に尋ねます。

**県央基幹病院までのアクセスの事業化を**

**町長** 現在、町では定期的に職員による道路パトロールを実施し、道路状況の点検、確認を行い、舗装損傷箇所については簡易的な補修を行っています。地元区長及び町民からの問合せにおいても早急に現場を確認し、対応しています。著しく損傷の激しい箇所は、経過観察をした上、舗装、補修工事を実施しています。令和3年11月15日の件については工事を発注しています。

**問** 令和3年11月15日には田上地内、今年の2月18日には横場新田地内、自動車で行く道路に空いた穴にタイヤを落とし、タイヤを損傷した事故がありました。6月26日には、原ヶ崎新田地内でも道路に穴が空き、舗装の残っている部分がエッジとなり、危険な状態のため、地域整備課より即、対応がされました。今後の町道の補修について町長に尋ねます。

**町民に安全で安心な町道を**



いまい さちよ 今井 幸代 議員(文責)

## 将来性をもった学校プールのあり方の検討を

町長：他市町村の状況等を参考に研究していきます。

**町長** 今年度、排給水管、シャワー類、ろ過機を修繕します。その他の環境改善も検討しています。新築や改修については、他市町村の建設事業費や維持管理費等を参考にし、修繕対応によるメリット、デメリット、経費についても比較検討し、研究していきます。

**安心して授業に集中できるプール環境整備を**

**問** 建設から50年以上経過する中学校プールは老朽化による衛生状況の悪化、異物混入、盗撮、覗き、強烈な紫外線等、様々な課題があります。生徒の嫌悪感も高く、保護者からの不安感も強いです。当事者等を含めた検討委員会を設置し、課題抽出、整理、対応策の検討を行い、将来展望をもった町内学校プール全体のあり方を検討していくべきです。また、安心して授業に取り組める環境が整うまでの間、暫定的な対応として他の施設利用(加茂温水プール等)も検討すべきではないですか。

**中学校運動部活動の地域移行を見据えた取り組みを**

**問** 文科省は、教師の業務負担軽減を背景に休日の運動部活動の地域移行が2023年度から段階的にスタートすることとしています。町も地域スポーツ関係者、保護者にも理解、協力を得ながら今後の部活動のあり方について議論を進めていく必要があると思います。地域移行を見据え、現在の外部指導員を部活動支援員として位置づけ、指導者を継続的に担保できる仕組み、環境整備が必要ではないですか。また、部活動の今後のあり方に関する検討会を設置し、国の動向を踏まえ、理解、協力を得るための関係構築の場が必要ではないですか。

**教育長** 加茂市温水プールは、来年度以降、市内小中学校の利用が増えるため難しく、自前で準備することを基本姿勢として考えています。

**給食費助成から給食費軽減へ**

**問** 可処分所得が増えない中、円安、ウクライナ情勢による物価上昇が続く、家計状況が苦しく、月々の出費を抑えたいと望む家庭が増えています。実際に「給食費補助は大変ありがたいが、学期毎ではなく、2子目なら半額支払い、3子目は無料

**教育長** 指導者確保が重要となり、現在の外部コーチのようなボランティアでは、安定的な確保は困難と考えます。部活指導員の導入も含め、研究していきたいと思えます。また、地域移行後の指導者には、競技指導だけではなく、緊急時対応、生徒間のトラブル対応、保護者対応なども求められます。結果を指すあまり、過度な練習や、パワハラ、モラハラなどが発生しないよう、指導者育成の仕組みを構築する必要があります。また、早急に学校側、スポーツ団体等と現状把握、課題整理をした上で、関係者による検討委員会を開きたいと考えています。

**その他の質問**

■3歳児健診時の視覚検査における精度向上について

としてほしい。毎月の出費を減らしてもらいたい。学期ごとに助成額をまとめて支払われるより、毎月支払う費用を抑える方が助かるので何とかしてほしい。」という保護者の声を聞いています。今の社会経済状況を鑑み、物価上昇と可処分所得が大きなアンバランスが生じているため、町としても給食費助成から給食費減免とし、家計の月々の支出抑制につながるべきではないですか。

**教育長** 学校事務職員の事務負担が大変大きくなります。また、少数ですが、未納者対応もあり、難しい問題です。未納にも関わらず、補助をする形となり、大変難しいと思っています。



たかはし ひであき 高橋 秀昌 議員 (文責)

帝政ロシア、ソ連の時代そして、現代ロシアの長きにわたる他国侵略の歴史のロシア。千島列島と齒舞、色丹は、第2次世界大戦後の領土不拡大の国際協定に反してスターリンが不当に要求し、ソ連の領土とし今日に至っています。

町長：ロシアは一刻も早く無条件に即時撤退をすべきです。世界世論を団結させることがこの戦争を終結させる大切な方法であると思います。

ロシアは無条件撤退を！ 日本国憲法の順守義務

問 ロシアのウクライナ侵略には「国連憲章と国際法を守れ」の一致点で世界世論を団結しプーチンを包囲することが最も大切ではないでしょうか。

町長 ロシアの侵略は明らかに国際法、国連憲章に違反。いかなる理由でも許されません。

問 ロシアの侵略を契機に国連憲章と日本国憲法を順守すべき政府や政党が防衛費の二倍化や核兵器保有、敵基地攻撃能力を持つと主張すること自体が国際関係を緊張させてしまうのではないのでしょうか。

町長 日本国憲法前文は憲法条文前にある文章で趣旨や基本原則を示しています。一番目は、国家は国民の幸福のためにある、二番目に個人は最も尊厳ある存在、三番目に私たちが幸せになるための平和主義、これは人類普遍の原理で国家の名譽にかけて達成を誓うとしています。

力の政治を唱えることは世界平和の実現に結び付くのか疑問です。

住民と約束した県央医療圏の姿を一方的に破棄してよいのか

問 花角知事は県央医療圏に救命救急センター設置をやめてしまいました。加茂病院は、民間の終末期医療と慢性期医療の限られた医療しかやらない、これは、県央医療圏での民間病院と公的病院、県立病院の役割分担をなくしてしまうことを意味します。

町長 長年の住民運動と市町村長、議会が力を合わせて県央医療圏の発展、命と健康を守る期待に基づき県当局と住民との約束を一方的に破棄されました。こんな理不尽なことがあつてよいのでしょうか。

町長 平成28年に住民と約束した内容で実施する必要性に現在も変わりはありません。

県病院局長が加茂病院の指定管理者の選定報告に来庁した際

に、公設公営が望ましいこと、住民への説明が一度もないことを指摘しました。

子どもの医療費助成の自己負担が入院と通院両方ある町村は、田上町と他は2自治体のみ

問 4年前の議会で18歳までの医療費助成の一部負担金を無くすよう求めました。

町長は900万円の新たな負担となり、検討すると答弁しました。

今年4月1日の県内市町村の状況を調べてみると、10町村中田上町と弥彦村と刈羽村の3自治体のみが入院・通院とも負担金ありです。

入院・通院ともに全額助成をして無料にしているのは魚沼市、阿賀町、出雲崎町、湯沢町の4自治体です。津南町は入院は無料です。

田上町は財政貧困自治体ではありません。コロナ禍や極端な円安で物価高騰し、さらに実質賃金は20年間で89・7%に減少しています。

佐野町長は二期目の所信表明演説で「若い世代が住み続けたいと思ひ、子どもたちを守り(中略)環境を築いてまいります。」とあります。子育て支援、生活を守る視点からも医療費無償化が必要ではありませんか。

町長 4年間で入院・通院ともに従来のままは少なくなっていました。どのような支援が可能か研究します。

問 全市町村が18歳まで助成対象としているのに、県の交付金は12歳までです。県の助成が30%程度では少なすぎます。50%助成を県に求めるべきです。

町長 県の交付金を50%に引き上げるよう町村会等で求めいきます。



ここが聞きたい 一般質問

公共下水道の未整備区域は、今後どのように取り組むのか

町長：住民意向調査を行い、汚水処理整備構想を見直したい

問 現在稼働している処理区は、昭和63年3月より稼働の特定環境保全公共下水道区域、平成7年7月より稼働の農村総合整備モデル事業の横場処理区、平成11年11月より稼働の集落排水事業の保明処理区があります。

公共下水道(汚水)事業は今後どうするのか

町長 平成7年度に基本計画が策定され、平成11年度に都市計画法、下水道法の事業認可を受けた未整備区域の中央公共下水道計画があります。しかし、度重なる水害による災害復旧経費や交付税、税収の落ち込みもあり、より一層財政状況が厳しいものになるとして、平成13年6月にこの計画は、当分の間休止する方針が打ち出されて、現在に至っています。

休止の間、現在まで議会には何回かの説明もありましたが、現状では雨水対策事業完了後、令和5年頃に再開となっております。

汚水処理は、現在稼働中の区域(3区域)を含め全てを現在

くまぐら しょうじ 熊倉 正治 議員 (文責)

の田上終末処理場に集める考えとなっております。果たしてこの方針でよいのか、さらには、県内汚水処理人口普及率ワースト2と言われています。これの脱却のためにも汚水処理の根本的な方針を打ち出す時期に来ているのではないかと考えますが、町長の考えをお尋ねします。



▲ 終末処理場

※公共用水域とは 公共用に供される水域(河川)や用水路を言う。

所信表明での課題の実現や解決は

問 所信表明の中で、明るい職場、風通しのよい職場づくりに関して述べていますが、今年に入ってから若手、中堅と言われる職員が相次いで退職があったと聞いています。退職の理由はそれぞれあるのでしょうかと思いますが、職員は町行政の将来を担う「人材」として考えれば大変残念なことです。職場環境や人間関係に問題はなかったのか、お尋ねします。

町長 今年に入ってから町の将来を担う若手、中堅職員が希望退職する事例がありました。これからの活躍を期待していただけに、非常に残念でなりません。退職理由は、それぞれの事情によるものでありましたが、職場環境や人間関係が影響している面もあったかと思えます。私自身、令和2年度より定期的に全職員と懇談する場を設け、職員の声を直接聞くとともに、職員自身からも風通しのよい職場、明るい職場づくりを心がけるよう呼びかけてきました。また、管理職に対しては、人事評価による個人面談などの場だけでなく、常日頃から課長、係員の体調を把握し、心身不調の早期発見や予防に努めるように指示をしています。今後も引き続き風通しのよい職場になるよう、しっかりと取り組んでいきます。



なかの かずみ 中野 和美 議員 (文責)

### 田上町内の学校におけるバリアフリーについて

**問** 2021年4月に施行された改正バリアフリー法で、初めて公立小中学校のバリアフリーが義務化されました。障がい者が社会的不利を受けるのは社会の問題で、その障壁を取り除くのは社会の責務だと考えられています。階段や段差で車いすが動けないのは、本人の責任ではなく、それを作り出した社会の責任なので、その障壁・バリアは取り除かなければならないということになります。幼少期から障がいのある子とない子が一緒に過ごせる学校であれば、共生社会や多様性を認め合う、といった言葉を使わなくても、人を人として尊重しあえる未来を創れるのではないのでしょうか。

文部科学省はバリアフリー化を緊急かつ集中的に整備を行うため、改修における国の補助をこれまでの3分の1から2分の1に引き上げるとしました。障がいはいづ誰がどこでなるか分かりません。明日、交通



### 校内バリアフリーの必要性を問います。

教育長：新築や増改築の際には、法改正に従いバリアフリー化します。

**教育長** 田上町立小中学校は、昭和50年代に建築され、当時はバリアフリーを意識したものではありませんでした。時代の流れとともに、高齢化や障がい者など、あらゆる人たちが社会活動に参加し、自己実現できるよう、法制定や法改正が行われました。在籍する児童生徒については、現在、担当教諭のほかに支援員を配置し、歩行時や階段では見守りを行っています。学校の新築や増改築の際には、法改正に従い、バリアフリー化を図っていかねばなりません。整備には多額の費用が必要とされることから、今後、研究してまいります。

### 加茂病院と病児保育の今後について

**問** 指定管理者候補への申し添えとして「①地域の医療機関との連携のもと、訪問診療・訪問看護といった地域における在宅医療の充実に関わるなど、高齢者を地域で支える仕組みづくりへの貢献に努めること。②緩和

ケア病床の維持などの医療機能の提供について、県と協議しながら、求められる役割を的確に果たすこと。(一部省略)」とあります。加茂市・田上町消防衛生保育組合では加茂病院に病児保育園を併設しています。「評価の視点」の中には病児保育園の具体的記述はありませんでした。県の説明会もこれからのようですので、今後も注視してまいります。県病院局からの報告も踏まえ、どのような方向性か伺います。

**町長** 現段階では病児保育の対応に変更が生じることはないと考えています。県立加茂病院には、他の小児科医院同様に、緊急時の体制整備として協力医療機関をお願いしています。運営が引き継がれた際にも、これまで同様をお願いしたいと考えています。

## 一般質問

ここが聞きたい

### 町主催によるフードドライブの実施を

町長：町として可能な取り組みについて検討したい

**問** 私が2019年10月から取り組んでいるフードバンク活動の支援現場では、コロナ禍を契機とした急激な社会情勢の変化により、既存の公的支援や福祉サービスだけでは生活が立ち行かなくなると訴える方が少なくありません。

### 町主催によるフードドライブの実施を

特に生活困窮者やひとり親世帯では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、望ましい社会的孤独や孤立が増大し、経済的な困難さに加え、それまでの多様な頼り先が減少したこととで生活の基盤が弱体化しています。

第6次田上町総合計画の前期基本計画の重点プロジェクトにも位置づけられている、安心して子育てできるまちプロジェクトの推進並びに基本構想6つの分野別目標に掲げられている、きずなと協働でつながるまちの促進に資する新たな施策として、町主催によるフードドライブの実施について提案します。

生活困窮者やひとり親世帯への食品提供を通じた伴走支援に取り組み、フードバンクや子ども食堂などに対し、町としてもフードドライブを実施し、集まった農産物や加工品などの食品を支援することで、経済的基盤が脆弱なボランティア活動の持続可能性を高めます。同時に、既存の公的支援や福祉サービスだけでは捉え切れない孤立世帯のSOSをいち早くキャッチし、必要に応じて町や相談機関につなげたりする町民主体のサポート機能の拡充が図られると考えますが、町長の考えを伺います。

※フードドライブとは  
各家庭や企業の使いきれない未使用食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動



**町長** 町主催によるフードドライブについてのご提案ですが、経済的に困難を抱える子育て世帯に対する支援や、世界的な課題である食品ロスに対して大変有効な施策であると認識をしています。

議員から既の実施しているチラシを参考資料としていただきましたが、フードドライブ用のボックスを常設するスペースとともに、提供していただいた食品を保管できるスペースが確保できれば実施可能ではないかと思っております。しかし、メリットやデメリットもあり、行政として側面的な支援の方法もあるようですので、田上町として可能な取り組みについて検討したいと考えています。

**問** フードバンクかも・たがみでは、加茂七谷温泉美人の湯にひとり親世帯の家族を無料でご招待するという企画を出し、多くの参加申し込みがありました。困難な状況にあるご家庭の方に、夏休みの思い出とメンタルケアを行う取組です。当町の湯田上温泉でも、同様にひとり親世帯を招待して、子どもに思い出を作ってあげることができないでしょうか。将来、子どもが大人になって、湯田上温泉に泊まって楽しかったとなれば、当町への移住も考えられます。

**町長** 困窮者世帯、また、ひとり親世帯に対する支援ということで、湯田上温泉に子どもたちを招待するという話でありまして、どのような形ができるのか、また、湯田上温泉旅館組合とも話をし、支援ができるような形で持っていければと思っております。

もりやま はるみち 森山 晴理 議員 (文責)



つばき かずはる 椿 一春議員 (文責)

### 決ってこの町を消滅させない 町長の思いは

**問** 町長の就任二期目の所信表明を受けて質問します。

街の将来像『若い世代がこれからも住み続けたいと思い、みんな子どもたちを守り・育て、高齢者が住みなれたこの町で生きがいをもっていつまでも元気で活躍できる、そして、田上町に住むすべての方の笑顔がふれるまちを目指し、町民の皆様が「夢」や「希望」を自由に追い求めることができる環境を築いてまいります。』と強く述べられていました。

### 若者移住推進策、住宅地・日曜保育を問う

町長：ニーズにあう保育は子育て支援に繋がる、民間との連携方法を考える

また、民間不動産会社調査で街の住みこちランキング第4位に田上町がなったことはすごいチャンスだと思い、移住推進として、宅地提供について、子育て若者応援の日曜保育の実現について質問します。

日曜保育については、ある日、「田上町に日曜保育があると、息子たちも新潟市から田上町に住むことができるのだけ」と、この声がとても心に残

りました。確かに働く環境も多様化し、日曜日・祝日等が勤務の日となることもあるでしょう。若者を呼び寄せるセールスポイントになると思います。

現状は家族での子育てが根付いていますが、配偶者や父母等の都合が悪く子どもを見られないケースもあると思います。竹の幼稚園で日曜保育を検討する考えはありますか。

民間と協力して日曜保育を実現する取組を検討する考えはあります。町長にお尋ねします。

### 教育長

日曜保育の実施はニーズに合わせた保育の充実というの、子育て応援につながるかと考えています。

竹の幼稚園での考えは、休日保育のニーズはそれほど多くないと思います、実施となると一定数の職員配置・休日出勤の振替で配置はかなり厳しくなり、現段階での検討は考えていません。

民間と協力しては、私立幼稚園での実施は可能なのか、また、

連携して休日保育が実施できるか、今後研究していきたいと思えます。実施することはかなり難しいと考えます。



### デマンド型の乗合タクシーの電話予約1本化を

**問** 自宅での乗り降りができることが周知され、乗降場所も追加されました。

デマンド型乗合タクシーです。デマンド型乗合タクシーです。効率よく相乗りをすることを目的とし、促進することで乗合タクシーの車両を活用することです。そのためは、予約電話を現状の3事業者各々の電

話番号での予約方法から電話番号1本で、予約する実証実験をなぜやらないのか、町長の考えをお尋ねします。

**町長** 加茂市は田上町より後発ですが、予約の電話は1番号で実施しています。

タクシー事業所によっては通常運行タブレット・デマンド用タブレットと2台を持って運行しています。その中でもう1台タブレットを持ち3台の使つては非常に難しいとの話です。コールセンターの設置については、利用者の動向を踏まえどのような対応ができるか今後引き続き研究していきたいと考えています。

### その他の質問

■移住促進宅地提供について

けられないかということ。これには解決しなければならぬ問題も多々ありますが、町長が言われる魅力づくりの根本的要素の一つになります。

**町長** 三点の提案につきましては、担当課において十分検討をしていきたいと思っています。

## ここが聞きたい 一般質問



こじま けんいち 小嶋 謙一 議員 (文責)

### 農家組合員の減少という現状に、新たに施策を講じる考えがありますか。

町長：今後、「農業者の声を聞くことを第一」に政策を検討していきます。

### 農業の実情に即した 政策を問う

**問** 町長は所信表明で「基幹産業である農業は、後継者、担い手不足が大きな課題」と述べられました。私は要因の一つとして、事業主である農業者個人の考えによるところが大きいと考えています。その結果、稲作に直接携わっている農家組合員が減少している現状は看過できません。町長はこの現状をどのように捉え、支援へ向けて新たな施策を講じる考えがあるか尋ねます。

**町長** 全国的に大きな課題であり、田上町も高齢や健康面を理由に離農される農業者の方は少なくありません。各集落において農家組合員が減少していることは承知しています。今後、農地の担い手にはどのような支援が必要か、農業者の声を聞くことを第一に検討していきます。

**問** 4月に農家の実態を知るためアンケート調査を行った結果から、現在抱えている課題及び将来へ向けた回答に対する町長の考えを尋ねます。

**町長** まさに高齢化、担い手不足、米価下落等による農業経営への不安が大きくあらわれていました。先ほども述べましたが、農業者の声を聞くことを第一に、農業政策の今後を検討していきます。

**問** 「農業者の声を聞くことを第一」とする答弁には、これまでの答弁と違って、今後は農業政策に前向きに取り組んで行くこととする姿勢を表現していると評価したいと思います。何事も現場の声を聞くところから始まります。改めて農業政策に取り組む決意を確認します。

**町長** 真正面から農業者の方々と向き合い、どういった支援ができるのか、真剣に取り組んでいかなければならないと思っています。後継者問題につ



▲ 基盤整備が待たれる新津郷田上工区

# 総務産経常任委員会 付託案件審査

## 令和3年度一般会計補正 予算（3月31日専決処分）

歳入では、除雪費用にかかる特別交付金を地方交付税として2064万8千円、土木費国庫補助金として538万8千円を追加しました。また、ワクチンの接種事業負担金として衛生費国庫負担金2276万3千円を増額、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（飲食店への協力金支払い）が実績により、6029万7千円を減額するものとなりました。

## 令和4年度一般会計補正 予算（4月14日専決処分）

主な内容は、湯田上温泉への支援策の源泉使用料減免、下水道使用料減免の関連経費を整理するものです。

歳入では、財政調整基金繰入金として1938万円を追加、歳出では観光施設整備基金元金積立金150万円を減額、下水道対策事業として下水道会計への繰入金948万3千円が増額されました。

## 令和4年度一般会計補正 予算（5月26日専決処分）

コロナ対策関連経費の整理が主な内容です。

歳入では、ワクチン4回目接種に40万9千円、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業では600万円、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業のシステム改修経費として

52万3千円を衛生費国庫補助金として追加されました。

歳出では、総務費で国勢調査の交付決定がされ、22万5千円が増額されました。

## 令和4年度一般会計補正 予算（第3号）

主な内容は、コロナ対策に関連したものです。

歳入では、子育て世帯臨時特別給付金事業補助金280万8千円、原油高騰対策用に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金6471万9千円、コロナワクチン接種4回目として新型コロナウイルス接種体制確保事業費補助金356万6千円等が追加されました。

また、財政調整基金への繰入金として2344万3千円が計上されました。

歳出は、4月の定期人事異動に伴う増減整理が主なものです。

## 令和4年度一般会計補正 予算（第4号）

新潟県と市町村が連携して行う物価高騰に対応した生活支援事業として、低所得世帯に対し給付金を支給するため、歳入に物価高騰等対応緊急生活支援事業として400万円を県支出金として追加、また繰越金638万8千円を追加するものです。

いずれの議案も全会一致で承認、原案可決しました。

委員長 今井 幸代



▲ 総務産経常任委員会

## 社会文教常任委員会

### 付託案件審査

#### 税条例等の一部改正に

ついて (専決処分)

固定資産税、個人住民税に関する改正で、町民の税負担に影響はなく、いずれも公平な課税をするためです。

#### 国民健康保険税条例の一部改正について (専決処分)

国民健康保険税の課税限度額を、医療分で63万円を65万円、支援分で19万円を20万円にする条例改正です。田上町では15世帯が影響を受けます。

#### 令和3年度一般会計補正予算 (専決処分)

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の申請が58件見込んでいたところ21件になったことにより6029万5千円を減額補正するもの。

・埋蔵文化財発掘調査事業の確定により247万6千円を減額補正するもの。  
・令和3年度実施の新型コロナ

ウイルスワクチン接種事業で、当初「集団接種」か「個別接種」か判らず意図的に二重に予算計上してあったものを5395万6千円を減額補正するもの。

#### Check 議論の中身

Q なぜ令和3年度内に精算しておかなかったのですか。また、誰が予算消化状況を把握していたのですか。

A 保健福祉課は休職者もいてマンパワーが不足していました。課長が変わって状況を把握しました。4月の人事異動で体制強化を図りました。今後、このようにならないようにしていきます。

#### 令和4年度一般会計補正予算 (専決処分)

◆ 4月14日付

衛生費で、まん延防止等重点措置の適用に係る飲食関連事業者等支援金事業220万円、指

定管理者支援事業769万7千円の追加補正をするものです。

◆ 5月26日付

衛生費で、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業52万3千円、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業600万円、4回目のワクチン接種の準備費用40万9千円などです。

#### 一般会計補正予算

衛生費では、燃料・物価高騰等に伴う生活応援支援事業5923万8千円、原油価格等の高騰に係る緊急建材対策支援金事業2010万円、原油価格等の高騰に係る農業者経営継続支援金事業680万6千円、学校給食費支援事業256万1千円、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種事業1513万7千円などです。

教育費では、ICT支援員の雇用、田上中学校プールの修繕に関する経費が計上されました。また、定期人事異動による関連経費の整理がありました。

#### Check 議論の中身

Q 多くの事業所が原油価格等の高騰の影響を受けています。400ある事業所のうち、予算で150事業所しか対象としないのはなぜですか。

A 事業所規模ではなく影響額で設定し、150は商工会や聞き取り調査で決めました。

#### 追加議案で、衛生費の物価高騰等対応緊急生活支援事業10

38万8千円が計上されました。新潟県と市町村が連携して、物価高騰等に対応するため、生活困窮世帯等に給付金を支給します。

#### 国民健康保険特別会計 補正予算

#### 介護保険特別会計補正予算

主な内容は、コロナ減免により国保税・介護保険料の減収分に関する経費の計上です。

いずれの議案も承認、原案可決しました。

委員長 池井 豊

**総務産経常任委員会  
所管事務調査**

期日 令和4年6月3日

協議題

■お試し移住宿泊補助事業について

移住推進を目的として、移住定住を検討する方に1人1泊3千円を上限に宿泊補助を行うものです。また、移住サポーターとしてボランティアを募集し、様々な移住に関する相談、案内等も含め対応してもらおう予定としています。

■飲食店スタンプラリーについて

町内飲食店を支援するため、1回300円以上の飲食でスタンプを1個押します。3個集め、応募すると湯田上温泉利用券や特産品を抽選でプレゼントするものです。

■マイホーム取得支援事業について

移住推進、人口流出抑制を図るため、新たに住宅取得する際に20万円、ただし、世帯に40歳未満の人がいる場合は25万円補助するものです。

5月31日現在の実績は40歳以上

世帯1件、40歳未満世帯が6件、うち町外者が3名です。住居の取得区分は合計7件のうち、新築が6件、建売が1件とのことでした。

■暮らし応援リフォーム補助金について

町内施工業者を利用して対象工事を行った際に補助を出すものです。5月31日現在の申請実績は40歳以上世帯14件、40歳未満世帯で5件となっています。

■起業創業支援事業について

町内の産業活性化、空き家や空き店舗対策、起業支援を目的として、創業、建物経費にそれぞれ上限50万円、総額100万円を補助するものです。外部有識者による審査を経て交付決定がされます。

親子間による事業継承は対象にはならず、また、近年の経済センサスによれば事業者数は430件程度、2年前は450件程度で事業者数も減少しています。

委員長 今井 幸代

**社会文教常任委員会  
所管事務調査**

期日 令和4年4月21日

協議題

【保健福祉課】

■心起園の現状確認について

老朽化が進み改修等の検討が始まる「田上町老人憩いの家 心起園」を現地で現状確認を行いました。床の傷んだ部分やガラスにひびが入っている箇所も確認できました。

【教育委員会】

■中学校プールの現状確認について

令和4年度は補修が間に合わず、秋に加茂市の室内プールで授業を行うことになったため、中学校プールの現状を確認してきました。ろ過機等の補修のみならず、抜本的な改修の必要性を共有できました。

■町民体育館の現状確認について

耐震化がなされておらず、今年度中に今後の改修か新築も含めての検討が始まる町民体育館の現状を確認してきました。天井部分

の老朽化による震災時の損壊が心配されます。

■交流会館 あそびの広場について

令和4年度に予算化された交流会館3階の「あそびの広場」に新しい遊具などが設置され、拡充することについて、現地で大きさを確認しながら、説明を聞きました。

委員長 池井 豊



▲ 田上中学校のプール

ようこそ田上町へ  
行政視察の受け入れ

期日 令和4年6月22日  
聖籠町議会

厚生産業常任委員会

【道の駅たがみについて】

聖籠町議会厚生産業常任委員会の皆さんが来町されました。

聖籠町が出資し、運営しているテナント事業や飲食事業での収益悪化が課題となっており、施設活用に関して検討のため、入場者数や売上状況が好調な道の駅たがみの運営方法や建設経過等の視察に来られました。

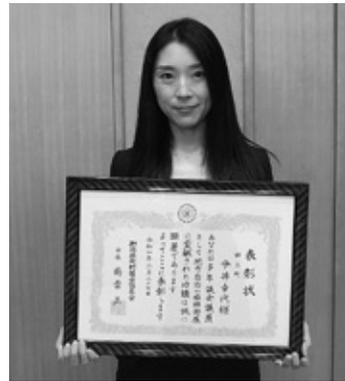
道の駅たがみの副駅長が運営実績や運営についての工夫等を説明し、所管課である政策推進室や産業振興課も町としての建設経過や現在の指定管理に関する説明を行いました。

お見舞い申し上げます

8月の豪雨で被災された関川村、村上市、胎内市の一日も早い復旧を心よりお祈りします。

表彰おめでとう  
いじやます

新潟県町村議会議長会より在職10年以上で表彰された今井幸代議員に表彰状の伝達を行いました。



▲ 今井 幸代 議員

全国町村議会議長会より、自治功労者として表彰された熊倉正治議員に表彰状の伝達を行いました。



▲ 熊倉 正治 議員

新任議員紹介



もりやま はるみち 議員  
森山 晴理

この度、5月の補欠選挙で、議員となりました森山晴理です。

これまでフードバンクのボランティア活動や文化活動を行ってきました。活動を通して、田上町の良さと同時に、解決すべき課題や、改善できる点が見えてきました。

議員として、課題解決とともに、町民の皆様からご意見をいただきながら、よりよいまちづくりのために、精一杯努めて参る所存です。どうぞよろしくお願いたします。

加茂市・田上町

消防衛生保育組合

3月定例会

期日 令和4年3月25日  
場所 加茂市役所

議題

1 専決処分承認について  
2 令和3年度一般会計  
補正予算(第3号)

3 令和4年度一般会計予算  
(総額)

13億6195万8千円

〈緊急防災・減債事業債〉

3540万円

〈主な新事業〉

・ごみ処理候補地選定委託料

403万7千円

・高規格救急自動車購入

4546万円

・消防庁舎耐震診断委託料

387万2千円

各議案とも、原案のとおり承認・

可決されました。

組合議員

高橋 秀昌

関根 一義

池井 豊

椿 一春

## 全員協議会

期日 令和4年3月28日

### 清掃センターの新設及び処理方式決定に至る経過報告について

清掃センター管理者の藤田加茂市長から、新設に伴う課題やごみ処理方式決定の経緯等説明がありました。続いて消防衛生保育組合事務局長から、ごみ処理施設整備工程表に基づき、スケジュールの説明がありました。

ごみ処理方式はストーカ式燃焼炉による処理になります。この方式に決定した理由は、施設建設に係る工期が短く、建設費や維持管理費が抑えられ、経済性に優れていること。災害発生時に24時間の運転が可能な他、熱源の利用にあたって選択肢が広いことが挙げられています。

町民の関心が高い建設候補地の選定は、段階を踏んで決定します。第一選定は、防災面や環境アセスメント等による候補除外区域を設定し、適地を絞り込みます。

第二選定は、候補適地を評価項

目と照合し、建設予定地を決めます。住民説明会は第一選定後または第二次選定後に行います。候補地の決定にあたり、管理者並びに事務局は、住民の理解が得られることが第一であり、住民説明会を重視しています。

施設の管理は三条市や見附市のように、管理を設備メーカーと提携することにより、不具合の改善等を速やかに進める方法もあるとしています。

期日 令和4年4月14日

### 営利目的の使用に関する要綱について

要綱は、施設の営利目的使用基準を明確にすることを目的としています。使用主体が会社や個人事業主の場合は営利使用にあたり、それ以外は使用目的によって判断を行う二段構成にしています。条項の一部について、いま一度再考を求めました。

### 令和4年度国民健康保険税・介護保険料の減免について

国から、減免額に対する財政支援の基準が示されました。

国保税・介護保険料とも、新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の収入が前年事業収入等の10分の3以上減少した場合、減免の対象になります。

### 新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加支援は、緊急性のある次の事業です。

- ①まん延防止等重点措置適用に係る飲食関連事業者支援金
- ②公衆浴場（温泉）応援事業
- ③指定管理者支援事業

事業者への支援は新潟県も行ってはいますが、それでも救えない飲食・旅館関連事業者の支援を町として早急に実施する必要から専決処分としました。

期日 令和4年5月19日

### 障がい者等相談支援業務委託料について

社会福祉協議会へ委託している相談支援業務について、相談件数が急増していることから、職員を1名増員し3名体制へ改善します。これに係る費用の231万4千円を補正予算で措置します。

### 田上中学校プール利用について

プールのろ過機等に不具合が生じたため、令和4年度の水泳授業は加茂市の温水プールを利用します。6月議会にプールの改修費用を補正予算に上程し、令和5年度からプールを使用できるように備えます。

### その他報告等

- ①新型コロナウイルスワクチン追加接種（4回目）にあたって、電算システム改修等費用の専決処分
- ②住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業の運用改善に向け電算システム改修等費用の専決処分

③ 中身の見えるごみ袋でごみ出しについて

④ 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「原油価格・物価高騰対応分」について

⑤ 町民体育館消火設備給水管漏水修繕費の専決処分

期日 令和4年6月15日

**地域おこし協力隊の活動について**

産業振興課から、現在活動している地域おこし協力隊について、町としての考えや今後について説明があり、隊員2名から現状報告がありました。

森澤拓哉隊員は地域資源の活用を主眼におき、取り組んでいます。現在、竹チップの利用へ向けた開発や、穂先筍の加工食品等将来の事業化を目指しています。

山口匠隊員はSNS上に、田上町についての画像や動画の投稿を継続して発信しています。今後も質の高いSNS発信や、よりよいスマホ相談室を開催していきます。



▲ 地域おこし協力隊の活動報告



▲ 山口匠隊員、森澤拓哉隊員

**社会教育施設の利用について**

主に営利・非営利の利用に関する根拠法令等について協議を行い、営利目的の使用に関する要綱(案)並びに田上町交流会館条例施行規則の一部を見直す確認を行いました。社会教育施設の設置条例は地方自治法に準拠し、営利・非営利を問わず幅広い活動を対象にしています。ただし、交流会館は公民館機能を併せ持つため、地方自治法と社会教育法の両側面から利用の可否を判断する必要があります。

利用予約はこれまでの団体やサークル活動を優先し、学習塾を含む営利使用の場合は、申請期間に制限を課し許可する方向で、田上町交流会館条例施行規則を改正します。

改正後に想定外の利用形態が出てきた場合は、教育委員会を開催し庁議に諮り、疑義等が生じる場合は、全員協議会で協議を行います。

**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について**

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応分の臨時交付金実施状況は、臨時交付金限度額

8687万9千円に対し、不足する2195万9千円を一般会計から補填します。

原油価格・物価高騰対応分の臨時交付金は交付限度額6471万9千円に対し、不足する2318万6千円についても一般会計から補填します。

原油価格・物価高騰等に対する支援策は、

① 町民に対する支援  
全町民へ1人当たり5千円の商品券を配布。

② 子育て世帯に対する支援  
給食の質と量を維持し、保護者負担を据え置いたための補助。

③ 事業者向けの支援  
町内事業所(法人及び個人)に対し支援金を交付。

農業事業者に対しても支援金を交付。

**その他報告等**

① 田上中学校プール授業に関する要望書の受理

② 地域資源活用事業(東京藝術大学との連携)について

議長 小嶋 謙一

# 護摩堂山 「里山再生プロジェクト」

～昔のように  
オオムラサキの乱舞を夢見て～  
田上町あじさい塾の活動



▲ 羽化の様子 (左)、  
オオムラサキのオス(上)  
メス(下)



塾長  
阪内 机由さん

田上町あじさい塾は、平成20年に「まちおこし団体」として結成されました。会員は現在46名います。活動は、毎年、幼児園児のタケノコ掘り体験に始まり、護摩堂山の整備や中学生との竹林整備など資源である里山の再生に取り組んでいます。

令和元年から「登る山から生き物に出会う山」へと、里山再生の在り方を活動に加え、現在激減している国蝶のオオムラサキの飼育に挑戦しています。

## 晩秋の幼虫探し

飼育には晩秋の幼虫探しから始まります。幼虫はエノキの枯れ葉の中で越冬しています。現地で幼虫の確保にあたりますが、興味を持つ子どもと一緒に探すのも恒例になりました。



◀▲ 親子で幼虫探し

幼虫は塾生（飼育班）が自宅で飼育し、サナギになったら「ごまどう昆虫の館」に移し、羽化を待ちます。昆虫の館で産卵も確認できました。うまく成長してくれるのを期待しています。

## 観察会の様子 (7月2・3日)



▲▶ 親子観察会



▲ 護摩堂山での観察会

- 広報常任委員会
- 委員長 中野 和美
  - 副委員長 藤田 直一
  - 委員 池井 幸代
  - 委員 今井 豊
  - 委員 渡邊 勝衛
  - 委員 品田 政敏
  - 委員 小野澤 健一

令和4年6月定例会は、5月29日投開票の町長・町議会補欠選挙のため、例年より20日程遅れて6月28日から17日間に渡り開催されました。

佐野町長の所信表明を受け、補欠選挙当選の森山議員を始め、12名の議員が3日間に渡り一般質問を行い、活気ある定例会でした。

新型コロナウイルス感染者数も7月初旬から増え、新潟県の過去最多を更新しています。町では4回目のワクチン接種が始まっています。

令和5年は町も町政50周年を迎えます。記念にふさわしい心に残るイベントを議会でも提案していきたいです。

(渡邊 記)

編集後記